

令和元年度学生受入部門活動報告

部門長 瀬瀬 守

1. 会議等の記録

令和元年度の会議記録を表1に示す。

表1 学生受入部門会議

開催日	主な審議議題
4月17日	1. 令和元年度 学生受入部門構成員について 2. 平成30年度活動報告及び平成31年度の事業計画について 3. 令和3年度(2021年度)大学入学者選抜について (1) 英語認定試験及び記述式問題(国語)の活用について (2) 大学入学共通テストに係る今後のスケジュール(案)について 4. 岐阜県高等学校長代表者との懇談会について 5. 大学見学及び出前説明会の依頼について
5月22日	1. 岐阜県高等学校長代表者との懇談会について 2. 令和3年度(2021年度)大学入学者選抜について 3. オープンキャンパスアンケートについて 4. 岐阜大学案内2021年版の作成について
6月26日	1. 教学IRに基づいた工学部推薦入試Ⅱの分析報告 2. 令和元年度 全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会報告 3. 令和3年度(2021年度)大学入学者選抜について 4. 入試広報について
7月24日	1. 岐阜県高等学校長代表者との懇談会について 2. 令和元年度 国立大学入試担当課長連絡協議会報告 3. 令和3年度(2021年度)大学入学者選抜について
9月18日	1. 令和3年度(2021年度)大学入学者選抜について 2. 岐阜大学案内2021年版について
10月21日	1. 令和3年度(2021年度)大学入学者選抜について
11月20日	1. 令和3年度(2021年度)大学入学者選抜について
12月18日	1. 令和3年度(2021年度)大学入学者選抜について 2. 教育推進・学生支援機構の改組について
1月22日	1. 令和3年度(2021年度)大学入学者選抜について
3月18日	1. 令和元年度活動報告について 2. 令和2年度に開催される学外進学説明会等への参加について

2. 活動内容及び成果

部門業務は、次の3つのミッションに区分している。

(業務1：調査分析) 入学者選抜方法の改善に係る調査・分析・検討

教学 IR データセット入試データによる分析

他大学調査・分析

入試制度の検証・改善案の作成

(業務2：広報) 入試情報の提供及び広報活動

大学案内の作成公表

大学情報の受験雑誌等への出稿

オープンキャンパスの開催

学外機関主催の大学説明会への参画

高等学校の大学見学

高等学校への往訪

(業務3：高大接続) 高大接続

高等学校関係者との懇談会

平成31年4月17日の第1回部門会議において、平成30年度活動報告及び関連する本学年度計画に基づき平成31年度の活動方針を確認し、年間を通じて活動を行った。

【調査分析】

○継続活動

- ① 全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会、国立大学入試担当課長連絡協議会に出席し、大学外の入試関連情報を学部と共有した。
- ② オープンキャンパスのアンケート項目（全学共通部分）を点検し、実施に向けての改善点を検討した。

○本年度の重点活動

(a) 教学 IR データセットの活用

戦略的かつ効果的な入試広報を行うため、学部ごとの高校別志願者数・入学者数の情報を提供した。

(b) 他大学調査

結果として、大学入学共通テストの枠組みにおける英語認定試験及び記述式問題の導入は見送られたが、その間、他大学の動向を注視した。部門会議において毎回他大学の状況を紹介し、本学の方針を決定する上での参考とした。

(c) 入試改革・改善に対応するFDの実施

当部門主催のFDは実施しなかったが、大学入試センターが主催する入学者選抜研究連絡協議会大会、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜が主催する高大連携セミナーに参加した。前者では主体性評価に関する取組事例が紹介され、後者では入試改革に対する高等学校の現状が発表された。これらの情報を学部と共有した。

【広報】

○継続活動

- ① 高校生の大学見学への対応、学外機関主催の大学説明会への参加、マスコミへの取材協力などの入試広報に関する業務について、学部と連携して積極的に取り組んだ。
- ② 『岐阜大学案内 2020』を完成し、学外に広く配布した。
『岐阜大学案内 2021』の作成方針を決定した。

○本年度の重点活動

(a) 高校に対する新たな広報手法の検討

教学 IR データを活用して志願者・入学者の出身高校別リストを作成し、戦略的な広報の在り方を検討した。

【高大接続】

○継続活動

- ① ステークホルダーと対話する関係づくりの一環として、「岐阜県高等学校長代表者と岐阜大学との懇談会」実施に向けて積極的に協力した。

○本年度の重点活動

(a) 高等学校関係者との対話の場の確保

大学入学共通テストに向けた指導、電子調査書への取組等高校現場の状況把握及び本学の現状と方針を発信するため、岐阜県高等学校長代表者との懇談会を実施した。2022年度の電子調査書全面的導入、新学習指導要領施行に向け選抜方法を検討する上では、高等学校との対話が重要であり、次年度も継続する予定。

(b) 「大学入学者選抜改革」に関する情報収集・共有

大学入学共通テストに関する情報を常に収集し、部門内で共有した。

(c) 平成 31 年度中に公表する入学者選抜方法の検討

平成 30 年 11 月に、大学入学共通テストの枠組みにおける英語認定試験及び記述式問題を活用する旨公表し、英語認定試験及び記述式問題（国語）の加点方法の公表に向けて他大学の動向も踏まえ議論を重ねた。しかし、英語認定試験及び記述式問題の導入が見送られたため、大学入学共通テストの外国語（英語）の取り扱いのみ公表した。

3. 課題及び次年度の取組方針

3つのミッションに関する課題及び次年度の取組方針は次のとおりである。なお、次年度から、教育推進・学生支援機構の改組に伴いアドミッション・センターが設置され、本部門は、入試広報・調査研究部門に名称変更する。業務に大きな変更はないが、担当する業務を部門の名前としたことで、より一層の取り組みが求められる。

また、ミッションのほかに、第3期中期目標期間の活動及び東海国立大学機構に設置される教育基盤（アカデミック・セントラル）の活動の推進に取り組む。

【調査分析】

- ・ 教学 IR データセットの活用[入試改革への対応]
- ・ 主体的評価法等入試改革・改善に対応する FD の企画実施、外部主催の FD への参加

【広報】

- ・ 大学見学、出前説明会の効果検証
- ・ 高校に対する新たな広報手法の検討

【高大接続】

- ・ 高等学校関係者との対話の場の確保
- ・ 「大学入学者選抜改革」に関する情報収集と共有
- ・ 調査書等の活用を含めた、学力の 3 要素を効果的に評価する方法の検討

【アカデミック・セントラルにおける活動】

- ・ 東海国立大学機構としての入試制度改革、入試広報、高大接続・連携に関する方針の検討

以上

令和元年度教養教育推進部門活動報告

部門長 野村 幸弘
副部門長 瀨瀬 守
橋本 永貢子
清島 絵利子

1. 会議等の記録

全学共通教育に関係する業務は、教養教育推進部門会議を中心に進めた。改革のための企画立案、教養教育推進に関する重要事項は、部門長、副部門長、機構専任教員によるワーキンググループで原案を作成し、教学企画室会議、ならびに教養教育推進部門会議の意見も反映させた後、教学委員会に諮るというプロセスで業務を進めた。

表1 教養教育推進部門会議

開催日	主な審議議題
4月8日	1. 平成31年度教養教育推進部門会議の開催日について 2. 平成31年度非常勤講師採用計画の一部変更について
5月13日	1. 「授業改善のための中間アンケート」の廃止について 2. 令和元年度後学期授業時間割(案)について 3. 第9回教養講演会の開催について 4. 岐阜大学創立70周年記念セミナー「岐阜大学誕生秘話」について
6月3日	1. 令和元年度非常勤講師採用計画の一部変更について 2. 令和元年度教育推進・学生支援機構教養教育推進部門推進費(前期分)の配分(案)について 3. 令和元年度後学期全学共通教育開講科目「Web履修申請」日程(案)について
7月8日	1. 令和元年度前学期定期試験の実施について 2. スポーツ・健康科学分野の名古屋大学との合同実習について
9月2日	1. 令和元年度前学期全学共通教育科目の試験時における不正行為について
10月7日	1. 令和元年度前学期授業評価アンケートの集計結果及び令和元年度後学期授業評価アンケートについて 2. 令和元年度イングリッシュ・キャンプについて 3. 令和元年度非常勤講師採用計画の一部変更について

	4. 英語教科書の推奨について
11月11日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度前学期科目ごとの成績分布について 2. 令和元年度教育推進・学生支援機構教養教育推進部門推進費（後期分）の配分（案）について 3. 2019年度非常勤講師採用計画について 4. 令和2年度新規開講科目について 5. 令和2年度開講授業計画（案）について 6. 岐阜大学全学共通教育の質保証に関する要項について
12月2日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2020年度非常勤講師採用計画について 2. 令和2年度前学期履修申請日程（案）について 3. 令和2年度新規開講科目について 4. インフルエンザ等感染に伴う全学共通教育授業の欠席学生の対応について 5. 部会報告について 6. 「学生による授業評価アンケート」および「教員の意識調査」について
1月6日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度名古屋大学との合同スキー実習について 2. 令和2年度非常勤講師採用計画の一部変更について 3. 2019年度後学期定期試験の実施について 4. 2020年度前学期授業時間割（案）について 5. 教育推進・学生支援機構の改組について 6. 全学共通教育カリキュラムの改編について 7. 全体意見交換会について
2月3日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度新規開講科目（追加）について 2. 令和2年度非常勤講師採用計画の一部変更について 3. 全学共通教育ガイダンス日程について 4. 部会の活動報告・課題・引継ぎ事項について
3月2日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年(2019年)度部会報告について 2. 名古屋大学との共同授業（英語）について 3. 岐阜大学全学共通教育科目に関する規程の一部改正について 4. 令和2年(2020年)度非常勤講師採用計画の一部変更について

2. 活動内容及び成果

- 令和元年5月23・24日に「ホテル日航大分オアシスタワー」で開催された第56回国立大学教養教育実施組織会議に参加した。教養教育推進部門からは教員と事務職員が、5つの協議題について分科会に出席し、第2分科会「個別の現代的な課題やテーマに焦点化した教育」では教養教育推進部門の廣内大輔准教授が、第4分科会「オンライン学習を含む遠隔授業形式での質保証」では教養教育推進部門副部門長の橋本永貢子教授が、岐阜大学での取り組み状況について発表を行った。また、会議終了後に各分科会での他大学の取り組みや動向について参加教員から報告を行った。
- ニュースレター「教養教育NEWS」30号、31号、32号を発行した。
- セミナー、FD等を開催
 - 5月29日 70周年記念セミナー 「岐阜大学誕生秘話 初代学長青木丈一郎の足跡」
 - 5月31日 第9回教養講演会 「詩の朗読会 “Who will rise with me and fight?”」
 - 6月27日 70周年記念セミナー（アンコール開催）
「岐阜大学誕生秘話 初代学長青木丈一郎の足跡」
 - 7月1日 討論会
「静岡大学・名古屋大学・三重大学とともに 英語教育を考える」
 - 10月9日 教養ワークショップ
「パーカッションによる、コミュニケーション・ワークショップ」
 - 11月27日 第1回FD研究会 「「活きた」授業を考える –BYODの実践報告」
 - 12月11日 第2回FD研究会 「これまでの教養、これからの教養」
- 第9回教養講演会開催
教養教育推進部門では、2016年度から、教養教育の重要性を伝えるために、「教養講演会」を実施している。第9回目となる講演会では5月31日（金）に「詩の朗読会 “Who will rise with me and fight?”」というタイトルで、ニール・ホール氏をお招きし、英語での詩の朗読、そしてアメリカ人の人種差別や社会的不公平についての講演を行った。
- 英語教育討論会開催
7月1日（月）に討論会「静岡大学・名古屋大学・三重大学とともに 英語教育を考える」を開催した。イングリッシュ・センターからは、デイビット・バーカーセンター長が「岐阜大学の英語カリキュラムについて」、ファンヘトホフ・オノ・ビクトワール特任准教授と島崎治子特任准教授から「英語教育の質保証について」、教養教育推進部門からは、清島絵利子准教授が「学生による授業評価アンケート調査結果について」の発表を行った。発表の後には、指定討論者やテレビ会議システムで参加された名古屋大学の教職員の方々から、本学の英語教育に関する質問や助言をいただき、英語教育に関する取り組みを共有できる貴重な機会となった。
- 教養ワークショップ開催
10月9日（水）に教養教育推進部門主催の新企画として「教養ワークショップ」を開催

した。第1回目となる本年度は「パーカッションによるコミュニケーション・ワークショップ」を開催し、イングランドを拠点に活動されているパーカッショニスト、エンリコ・ベルテッリ氏と各務原市在住のパーカッショニスト松尾志穂子氏をお招きし、学内外の幼児から大人まで幅広い年代の25名の参加があった。参加者も演奏を一緒に行う等、音楽を通してコミュニケーション力を身につけることができた。

○名古屋大学と連携し、英語による大学講義「StudiumGenerale」を開催し、遠隔講義システムを利用して岐阜駅に隣接するサテライトキャンパスへの配信を行った。10月～1月にかけて10回実施し、高校生を含む延べ40名の参加があった。

○イングリッシュ・キャンプ、サマーキャンプ実施

(1) 名古屋大学ライティングセンター主催、岐阜大学イングリッシュ・センター協力で「サマーキャンプ」が実施された。8月31日～9月3日(3泊4日)の日程で、長野県「国立信州高遠青年自然の家」にて、名大生15名と岐阜大生5名が共に、英語を使用し研究手法、コミュニケーションスキル、リーダーシップを学んだ。

(2) 9月10日～12日に本学学外研修施設(岐阜市長良竜東町)にて「イングリッシュ・エクストラサマーキャンプ2019"留学"in Japan」を開催した。予想を大幅に上回る42名の学生の参加があり、2泊3日の期間中、英語のみを用いて、グループ活動、プレゼンテーション、屋内外スポーツ、調理、ゲーム、映画鑑賞、読書等の様々な活動を行い、英語圏におけるホームステイを疑似体験した。

3. 課題及び次年度の取組方針

- 基盤教育センターの運営、教養教育に関する検討・充実。
- 授業担当者、および授業科目数を確保すること。
- 名古屋大学との共通教育の連携推進。
- 「StudiumGenerale」、「サマーキャンプ」の全学共通教育科目(単位)化。
- 「岐阜学」科目の運用検討。
- 第二外国語の実施方法の検討。
- 数理・データサイエンス・AI教育の実施方法の検討。
- 「講演会」、「FD・SD」の開催、「教養教育NEW」の発行。

令和元年度学修支援部門活動報告

部門長 岩橋 均
副部門長 廣内 大輔
副部門長 松原 正也

はじめに

学修支援部門は、その下部組織として初年次教育担当とメディア教育担当の2つを持つ。よって本稿は、まず学修支援部門全体の動向を記した後、これら2つのグループがそれぞれの担当業務について記載するものとする。

1. 会議等の記録

【学修支援部門全体の動向】

学修支援部門会議

開催日	主な審議議題
平成31年 4月19日	①学修支援部門名簿の確認 ②学修支援部門の体制について ③今年度の検討事項について ④平成31年度計画について ⑤平成31年度アカデミック・コア政策経費について ⑥今年度の会議日程（案）について
令和元年 5月10日	①教育推進・学生支援機構 学修支援部門員の紹介 ②教育推進・学生支援機構規程および部門細則の確認 ③令和元年度計画について ④学修支援部門の体制について
令和元年 6月21日	①各担当報告 ②アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③長期休暇中のアカデミック・コアの使用について ④岐阜大学シラバス作成ガイドライン（案）について ⑤成績評価基準について

令和元年 7月12日	①各担当報告 ②アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③令和元年度後期開講科目「学びをデザインする」について ④岐阜大学シラバス作成ガイドライン（案）について ⑤成績評価基準について
令和元年 9月13日	①各担当報告 ②アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③アカデミック・コア学生スタッフの採用について ④令和元年度計画に対する9月末時点での進捗状況の報告について ⑤岐阜大学シラバス作成ガイドライン（案）について ⑥成績評価基準について
令和元年 10月11日	①各担当報告 ②アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③第5回岐阜大学学生レポートコンテストの実施について ④令和元年度第1回学修支援部門FD・SDについて ⑤アカデミック・コア使用申請について ⑥岐阜大学シラバス作成ガイドライン（案）について ⑦成績評価基準（案）について
令和元年 11月8日	①各担当報告 ②アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③アカデミック・コア学習相談の状況について ④アカデミック・コア使用申請について ⑤岐阜大学シラバス作成ガイドライン（案）について ⑥成績評価基準（案）について ⑦岐阜大学全学共通教育の質保証に関する要項について
令和元年 12月13日	①各担当報告 ②アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③令和元年度第1回学修支援部門FD・SD 「学修成果の可視化のための評価指標の開発と実践」について（報告） ④岐阜大学シラバス作成ガイドラインについて ⑤成績評価基準（案）について
令和2年 1月10日	①各担当報告 ②アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③成績評価基準（案）について
令和2年 2月14日	①各担当報告 ②アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況

	③ 令和2年度前学期アカデミック・コア学生スタッフの募集について ④ 第5回岐阜大学学生レポートコンテストについて ⑤ 令和2年度全学共通教育ガイダンスの実施について ⑥ 令和2年度初年次セミナー（図書館ツアー）実施日程について ⑦ 成績評価基準（案）について
令和2年 3月13日	①各担当報告 ②アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③令和2年度前学期アカデミック・コア学生スタッフの募集について ④令和元年度岐阜大学学生レポートコンテスト結果について ⑤令和元年度 年度計画の実施状況と令和元年度活動の振り返り

【初年次教育担当の動向】

学修支援部門（初年次教育担当）会議

開催日	主な審議議題
令和元年 5月10日	①今年度の活動計画について ②初年次セミナーにおける図書館ツアーの司会進行について ③初年次セミナーの授業評価アンケートについて ④アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ⑤令和元年度アカデミック・コア政策経費について ⑥今後の会議日程について ⑦平成30年度岐阜大学学生レポートコンテスト表彰式について

【メディア教育担当の動向】

学修支援部門（メディア教育担当）会議

開催日	主な審議議題
令和元年 5月10日	①令和元年度メディア教育担当者について ②副部門長補佐の選出について ③メディア教育担当におけるこれまでの取り組みと今年度の活動目標に関する協議 1)メディア教育担当の活動内容・成果および課題の確認 2)メディア教育担当の今年度の活動目標に関する協議 ④メディア教育担当に係るヘルプデスクおよび学生スタッフの活動報告 ⑤年間会議スケジュールの確認
令和元年	①LMSに関する協議

6月26日	<ul style="list-style-type: none"> 1) AIMS-Gifu について ②広報に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> 1) 学修支援部門 NewsLetter について ③ICT を活用した学習支援に関する協議 ④メディア教育担当に係るヘルプデスクおよび学生スタッフの活動報告 <ul style="list-style-type: none"> 1) ヘルプデスク活動報告 2) 学生スタッフ活動報告
令和元年 7月24日	<ul style="list-style-type: none"> ①LMS に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> 1) AIMS-Gifu について ②広報に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> 1) 学修支援部門 NewsLetter について ③メディア教育担当に係るヘルプデスクおよび学生スタッフの活動報告 <ul style="list-style-type: none"> 1) ヘルプデスク活動報告 2) 学生スタッフ活動報告
令和元年 9月25日	<ul style="list-style-type: none"> ①LMS に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> 1) AIMS-Gifu について ②広報に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> 1) 学修支援部門 NewsLetter について ③ICT を活用した学習支援に関する協議 ④メディア教育担当に係るヘルプデスクおよび学生スタッフの活動報告 <ul style="list-style-type: none"> 1) ヘルプデスク活動報告 2) 学生スタッフ活動報告
令和元年 10月23日	<ul style="list-style-type: none"> ①広報に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> 1) 学修支援部門 NewsLetter について ②メディア教育担当に係るヘルプデスクおよび学生スタッフの活動報告 <ul style="list-style-type: none"> 1) ヘルプデスク活動報告 2) 学生スタッフ活動報告
令和元年 11月27日	<ul style="list-style-type: none"> ①広報に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> 1) 学修支援部門 NewsLetter について ②メディア教育担当に係るヘルプデスクおよび学生スタッフの活動報告 <ul style="list-style-type: none"> 1) ヘルプデスク活動報告 2) 学生スタッフ活動報告
令和2年 1月29日	<ul style="list-style-type: none"> ①LMS に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> 1) AIMS-Gifu について ②メディア教育担当に係るヘルプデスクおよび学生スタッフの活動報告 <ul style="list-style-type: none"> 1) ヘルプデスク活動報告

	2) 学生スタッフ活動報告
令和2年 3月25日	①LMSに関する協議 1) AIMS-Gifu について ②メディア教育担当に係るヘルプデスクおよび学生スタッフの活動報告 1) ヘルプデスク活動報告 2) 学生スタッフ活動報告

2. 活動内容及び成果

【学修支援部門全体】

- ・岐阜大学シラバス作成ガイドライン（案）の作成
令和元年11月19日教学委員会承認「岐阜大学シラバス作成ガイドライン」の草案を作成した。
- ・岐阜大学成績評価基準（案）の作成
令和2年1月21日教学委員会承認「岐阜大学成績評価基準」の草案を作成した。
- ・「岐阜大学ラーニングコモンズ開設後4年間の軌跡：その成果と今後の課題」の寄稿
『岐阜大学教育推進・学生支援機構年報（第5号）』において、アカデミック・コア事務職員並びにアカデミック・コア学生スタッフが、これまでのアカデミック・コアの活動を「岐阜大学ラーニングコモンズ開設後4年間の軌跡：その成果と今後の課題」としてまとめた。

【初年次教育担当】

- ・全学共通教育新入生ガイダンスでの説明
全学共通教育新入生ガイダンスにおいて、教養教育の重要性を中心に各学部の新入生に説明を行った。
- ・岐阜大学における学生のアクティブ・ラーニングの促進について
 - 1) 平成28年度に定義した本学のアクティブ・ラーニングの定義について周知を図り、また、シラバスガイドラインに基づいた様式のシラバス運用を開始し、すべての教員が同じ様式のシラバスを用いた。
 - 2) 学生のアクティブ・ラーニングを促進する科目を選定し一層の整備を進める目的で、「学修成果の可視化のための評価指標の開発と実践（山形大学の質保証への取り組み）」と題したFD・SDを行い、学内外から56名の参加があった。
- ・「ひろがる学び，つながる学び」の開講について
前学期に開講し，16名の学生が履修した。

- ・「学びをデザインする」の開講について
 - 1) 初年次セミナーの受講者にこの科目の紹介を行い，受講希望者および関心を示す学生に対して，事前説明会を2回実施した。
 - 2) 受講希望者には，「さんかんがく」からアドバイザー教員を探すように促した。併せて，学修支援部門長より各学部の教員にアドバイザー教員の周知と履修希望者からの相談に応じてもらえるよう依頼を行った。
 - 3) アドバイザー教員が決まった後に，当該教員への授業内容の説明を行った。
 - 4) 後学期に開講し，6名の学生が履修登録した。
- ・岐阜大学学生レポートコンテストの実施について

第5回を迎えるにあたり，これまで学修支援部門主催で実施してきた岐阜大学学生レポートコンテストを，教育推進・学生支援機構の主催で行うこととし，審査について学修支援部門初年次教育担当が行うように実施主体が変わった。応募総数は13作品となり，初年次教育担当の全委員と学修支援部門長で審査し，入賞（最優秀賞：1，優秀賞：2）作品を選定する案を作成した。
- ・アカデミック・コアにおけるSA及びTAに求められる能力の開発について検討した。
 - 1) FD・SDにアカデミック・コア学生スタッフが参加し，自身の体験や業務を通じて身に付いたことを発信した。
 - 2) アカデミック・コアで勤務する学生スタッフが契約期間を更新して勤務する際に面接による中間評価を行った。また，新規採用者にはサポート・事前研修を実施した。
 - 3) 学生スタッフによるイベントとして「初めてのTOEIC…さあ、どうする!?!」「ワンランク上のレポート講座」等11件の学修イベントを実施した。
 - 4) 昨年度から実施している“学生が苦手意識を抱きやすい科目”のテスト対策講座として「基礎無機化学&無機化学」「流体力学」等をTA・SAが企画し，実施した。「レポート対策講座 応生実験」には学部の学生を中心に34名の参加があった。
- ・初年次セミナーのあり方について
 - 1) 平成30年度に行った図書館ツアーを継承し，本借り出し体験について受講生が本を検索し，借り出して持ち帰る形で実施した。
 - 2) 初年次セミナーの授業評価アンケートを実施し，受講生の満足度，前年度との比較分析・意見交換を行った。
- ・『岐阜大学生のためのレポートの書き方』（旧『岐阜大学生のための日本語表現練習ノート』）について，記載内容を精査した。

【メディア教育担当】

- ・岐阜大学におけるLMS(Learning Management System)および学務情報システムのあるべき姿とその実現方策の検討を行った。

- 1) AIMS-Gifu 運営を円滑にするための AIMS ヘルプデスクおよび情報連携統括本部等他
部局連携体制の見直し
 - 2) AIMS-Gifu 利用マニュアルの作成・見直し
 - 3) AIMS ヘルプデスクの月例活動報告と集計
 - 4) AIMS ヘルプデスクコミュニティの運営および利用ルールの見直し
 - 5) AIMS-Gifu および学務情報システムの機能役割の検討および整理
 - 6) AIMS-Gifu と学務情報システムのコース受講者連携に係る調整
 - 7) AIMS-Gifu 利用問い合わせ等への対応および問題解決
- ・アクティブ・ラーニングをサポートする教育コミュニケーションツールの利用法の検討
を行った。
 - 1) アカデミック・コア学生スタッフによる自発的な ICT 教育利活用法の検討
 - ・広報に関する協議を行った。
 - 1) アカデミック・コアスタッフ，学生スタッフを主導とした学修支援部門 News Letter
の刊行
 - 2) 学修支援部門 Web ページの構成・内容等についての検討
 - ・学修支援部門メディア教育担当会議を実施した。(全 8 回)
 - ・G-group スペースおよびメーリングリスト等 ICT を活用した会議等業務の効率の向上を図
った。

3. 課題及び次年度の取組方針

次年度からは，新たに発足する「教育推進・学生支援機構 基盤教育センター」の部会
の一つ、『学修支援部会』として，今年度行った事業を継続することを予定している。

全学共通教育新入生ガイダンスで，教養教育に関する説明を行い，引き続き初年次セミ
ナーにおける図書館ツアーを実施する。

アカデミック・コアは，年間利用者が令和元年度約 8 万人となり，当初から目標として
きた年間 7 万人の利用を上回る利用があった。学修支援の拠点として，学習の相談ができ
る場所が学内にあることがある程度定着したと言える。また，継続した利用者数の増加も
重要であるが，学生スタッフによるテスト対策講座の継続実施，アカデミック・コアに勤
務する SA・TA に対してのサポート・教育にも引き続き注力する必要がある。

岐阜大学の SA 育成科目である「ひろがる学び，つながる学び」を開講し，授業を通して
大学生としての学び方を教授し，本学の SA や TA として活躍できる能力の開発を目指す。
また，「学びをデザインする」を開講し，学生がもっとも関心のあることを自主的に学ぶこ
とを支援する。

教育推進・学生支援機構として開催する「岐阜大学学生レポートコンテスト」について，
より多くの作品が応募されるように学内へ広く周知を行うとともに，その審査に協力をす

る。

岐阜大学における学生のアクティブ・ラーニングの促進について、学修支援に関する FD・SD を継続して実施し、基盤教育センター構成員の積極的な参加を含め、FD・SD への参加者を増やす取り組みについて検討する。

また、引き続き岐阜大学における LMS (Learning Management System) および学務情報システムのあるべき姿とその実現方策の検討を行う。特に AIMS-Gifu 運用を円滑にするため、AIMS ヘルプデスク体制の見直しを図る必要がある。

令和元年度学生生活支援部門活動報告

部門長 杉森 弘幸

1. 会議等の記録

部門の会議は表1に示すように4回開催した。

表1 学生支援部門会議

開催日	主な審議議題
4月25日	学生生活実態調査について 平成31年度課外活動支援事業について
7月3日	令和元年度課外活動支援事業について 学生生活実態調査報告書について
2月5日	理事（教学担当）被表彰団体・被表彰者について 課外活動経費の配分方法について
3月9日	令和2年度学生団体設立承認について 今年度部門会議活動報告について 新型コロナウイルス感染症に係る対応について

2. 活動内容及び成果

1. 学生生活実態調査の実施

学生生活の向上に資するため、学生生活の実態を把握し、諸施策を検討する上で必要となるデータの収集を目的として、アンケートを実施した（実施期間：平成30年9月20日～平成31年2月28日、学務情報システムを使用）。調査結果を報告書として纏め、完成させた。

この報告書は、岐阜大学公式ホームページに専用ページを設けて掲載している。

2. 課外活動支援事業の実施

課外活動の活性化を目的として、申請のあった26団体に対して、経常的要素をベースに若干の競争的要素を加えた配分方法で決定した支援額を上限として、2月末までに申し出のあった団体へ支援を行った。（総額：250万円）

3. 理事（教学担当）表彰の実施

学生団体から提出のあった活動報告書の中で良好な成績を収めた11団体と25名

に対して、令和2年2月28日（金）に表彰式を行うことを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により式典を中止としたため、学生支援課窓口において表彰状と副賞（図書カード）を被表彰団体・表彰者へ授与した。

4. 令和2年度学生団体設立の承認

学生団体から提出のあった継続団体及び新規団体について、設立を承認した。

3. 課題及び次年度の取組方針

令和2年4月に設置される学生支援センターにおいても、課外活動支援、理事表彰（令和2年度からは副学長表彰）及び障害学生支援の取組を継続実施する。ただし、新型コロナウイルス感染症対策を最重要視する。

次回の「学生生活実態調査」においては、Webによるアンケート収集方法は継続するが、工学部の回答率を上げる必要がある。

令和元年度地域教育連携部門活動報告

部門長 竹内 章郎

1. 会議等の記録

地域教育連携部門は、地域教育機関との連携を推進すべく、大学間単位互換授業を含むネットワーク大学コンソーシアムの運営及び事業の実施に関する事、サテライトキャンパスの運営及び事業の実施に関する業務を実施した。

本報告においては、部門会議に関わる事項に加えて岐阜大学が事務局を担うネットワーク大学コンソーシアム岐阜の会議、事業を報告する。

(1) 部門会議等の記録

表1に地域教育連携部門会議の開催日と審議事項を示す。

表1 地域教育連携部門会議

開催日	主な審議議題
2月17日	(1) 岐阜大学サテライトキャンパス使用細則の改正について (2) 岐阜大学サテライトキャンパスの使用に関する申合せの改正について (3) サテライトキャンパスの振興方策について

(2) ネットワーク大学コンソーシアム会議等の記録

表2にネットワーク大学コンソーシアム岐阜の主な会議の開催日と審議事項及びイベント事業について示す。

表2 ネットワーク大学コンソーシアム岐阜の主な会議

開催日	主な審議議題、イベント事業
4月23日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成31年度第1回教員免許状更新講習部会 (1) 教員免許状更新講習に関する協定書等について (2) 平成30年度岐阜県教員免許状更新講習選択講習分配金の決算について (3) 平成31年度必修領域講習等の講師について
5月20日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度第1回幹事会(メール会議) (1) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜への新規加盟について (2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜に関する協定書の改正案について

	<ul style="list-style-type: none"> (3) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜設置要綱の改正案について (4) 単位互換に関する包括協定書の改正案について (5) 平成30年度事業報告・決算（案）について (6) 令和元年度負担金（案）について
5月24日	<p>ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度第1回運営協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜への新規加盟について (2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜に関する協定書の改正案について (3) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜設置要綱の改正案について (4) 単位互換に関する包括協定書の改正案について (5) 平成30年度事業報告・決算（案）について (6) 令和元年度負担金（案）について
5月31日	<p>ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度第1回地域連携・産学連携部会</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和元年度の事業について
10月4日	<p>ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度第1回高大連携・情報発信部会</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 大学ガイダンスセミナーについて (2) 高大連携セミナーについて
10月23日	<p>ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度第1回中長期計画策定運用部会</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 私立大学等改革総合支援事業タイプ3（プラットフォーム型）の設問（共通）への対応及び回答の作成について (2) 岐阜県における高等教育のあり方等について
10月30日	<p>ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度第1回高大連携セミナー</p> <p>I. 基調講演</p> <p>『大学入試改革の方向性とその評価～「主体性等」の多面的・総合的な評価について～』 （尾木義久：関西学院大学 アドミッション・オフィサー・学長特命）</p> <p>II. パネルディスカッション</p> <p>『大学入試改革でどのように高校での学びを評価するようになるか～「客観性・公平性」の入試から、「妥当性・信頼性」の入試への変革～』</p>
11月29日	<p>ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度第2回高大連携・情報発信部会（メール会議）</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 高大連携情報部会 アンケートの実施について
12月5日	<p>ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度第1回教育連携推進部会</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和2年度単位互換科目の開講予定調査について (2) 令和2年度共同プログラム（教職員向け）の企画について (3) 令和2年度共同プログラム（一般向け）の企画について (4) 令和2年度公開講座の企画1について (5) 令和2年度公開講座の企画2について (6) 令和2年度公開講座の新規企画について

12月21日	<p>ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度「学生による地域課題解決提案事業」成果報告会 会場：岐阜大学サテライトキャンパス</p> <p>(1) 開会あいさつ、審査員紹介、発表方法・審査基準説明 (2) 成果報告 (3) グループ懇談会 (4) 審査結果の発表、審査員の講評、閉会の挨拶</p>
1月8日	<p>ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度第3回高大連携・情報発信部会（メール会議）</p> <p>(1) 高大連携・情報発信部会アンケートの活用方針について (2) 令和元年度第2回高大連携セミナーの開催について (3) 令和2年度事業計画について</p>
1月22日	<p>ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度第1回企画調整会議（メール会議）</p> <p>(1) 令和2年度ネットワーク大学コンソーシアム岐阜予算（素案）について (2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜パンフレット2020の作成について</p>
2月14日	<p>ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度第2回教員免許状更新講習部会</p> <p>(1) 必修講習及び選択必修講習ガイドラインについて (2) 令和2年度岐阜県教員免許状更新講習必修講習及び選択必修講習の開催日程について (3) 令和2年度岐阜県教員免許状更新講習必修講習及び選択必修講習の担当講師について (4) 令和2年度岐阜県教員免許状更新講習の選択講習開催について (5) 令和2年度岐阜県教員免許状更新講習の開催等日程について</p>
2月14日	<p>ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度第2回高大連携セミナー</p> <p>I. 基調講演 「大学入学者選抜の改革 ～知識重視から、学力3要素が求められる入試～」 (新井健一：CRET 教育テスト研究センター理事長・ベネッセ教育総合研究所理事長)</p> <p>II. 意見交換会</p>
2月28日	<p>ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度第2回教育連携推進部会（メール会議）</p> <p>(1) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜単位互換事業ガイドラインについて (2) 令和2年度単位互換科目の開講について (3) 令和2年度共同プログラム（教職員対象）について (4) 令和2年度共同プログラム（一般対象）について (5) 令和2年度公開講座1について (6) 令和2年度公開講座2について (7) 令和2年度公開講座（新規）について</p>
3月6日	<p>ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度第2回企画調整会議（メール会議）</p> <p>(1) 部会からの報告及び事業計画（案）について (2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜パンフレット2020の作成について (3) 令和2年度予算及び負担金（案）について</p>

3月16日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度第2回幹事会（メール会議） (1) 令和2年度以降の副代表・監事・部会長について (2) 令和2年度役員等（案）について (3) 令和2年度事業計画（案）について (4) 令和2年度予算（案）及び参加校負担金（案）について (5) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜設置要綱及び事務室規程の改正について
3月19日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜令和元年度第2回運営協議会（メール会議） (1) 令和2年度以降の副代表・監事・部会長について (2) 令和2年度役員等（案）について (3) 令和2年度事業計画（案）について (4) 令和2年度予算（案）について (5) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜設置要綱及び事務室規程の改正について

2. 活動内容及び成果

(1) サテライトキャンパスの運営及び事業

a) 利用目的：授業

前学期 岐阜大学開講科目 10科目 履修者数 260名

後学期 岐阜大学開講科目 7科目 履修者数 123名

早朝クラスの実施

平成28年度から、朝の時間帯における岐阜駅から岐阜大学へ向かうバスの混雑緩和を目的として、新たに「早朝クラス」を開始した。これは、一部の授業を8:00からサテライトキャンパスで開講することにより、柳戸キャンパスで行われる2限目の授業に学生が余裕を持って向かえるようにしたものである。また、平成31年度以降は、さらなるバスの混雑緩和を目指し、早朝クラスを7:50から開始できるようにした。令和元年度は、下記の授業を早朝クラスとして開講した。

前学期	言語学（北欧のことばと地域の方言）（月）	履修者数 76名
	教養の数学（コンピューターのための数学概論）（月）	履修者数 40名
	科学論（科学論入門：近代的自然観と自然科学）（水）	履修者数 57名
後学期	言語学（アイスランドのことばと文化）（月）	履修者数 57名
	民事法（財産と法）（火）	履修者数 20名
	財政学（火）	履修者数 18名

b) 利用目的：講演会、会議等

前学期 375件 延べ利用者数 7,878名

後学期 352件 延べ利用者数7,640名

公開講座「アカデミッククラブ」の開始

一般市民への啓発や生涯学習活動の推進を目的として、新たに公開講座「アカデミッククラブ」を開始した。これは、岐阜大学名誉教授等を講師とした講座であり、令和元年度は24講座全148回を開催し、延べ3,901名の方が参加した。

(2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜の事業

a) 教育連携推進事業

■単位互換授業及び社会人公開授業

①目的

- ・ 学生の学習機会の多様化（人材育成・教育機能の充実）
- ・ 地域への生涯学習機会の提供
- ・ 既存授業の社会人への開放

②履修者数等

	提供科目数（科目）	受講科目数（科目）	履修者数（人）
単位互換授業	124	10	173
社会人公開授業	51	33	75

■共同プログラム

①目的

- ・ 社会人・高校生への学習機会の提供
- ・ 学生と社会人・高校生が協働して学ぶことができる場の提供
- ・ 社会人・学生の人材育成等の学習機会の提供

②プログラム名称

- ・ 一般向け：特別な支援を必要とする児童・生徒への対応Ⅱ
- ・ 教職員向け：人材育成プログラム

③受講者数

	講座回数 (回)	総受講者 数(人)	受講者数		
			社会人	高校生	学生
一般向け	5	149	149(8)	0	0
教職員向け	5	262	262(262)	0	0

(注) () は、コンソーシアム加盟機関に所属する者を内数で示す。

■公開講座

①目的

- ・ 社会人・高校生への学習機会の提供
- ・ 地域への生涯学習機会の提供

②プログラム名称

- ・ 岐阜に生きる 岐阜と生きる
- ・ 古典への誘いⅢ～継承される身体～

③受講者数

	講座回数 (回)	総受講者 数(人)	社会人	高校生	学生
岐阜に生きる	10	365	365	0	0
古典への誘いⅢ	12	870	870	0	0

b) 高大連携・情報発信事業

①目的

- ・ 大学に対する高校生の理解の促進
- ・ 大学における高度な教育・研究に触れる機会や学部選択に関する情報の提供、高等教育機関と高校との連携

②実績

高大連携セミナーの実施

<第1回>

- ・ 開催月日：令和元年10月30日（水）
- ・ 会場：岐阜女子大学
- ・ 当日参加者：75名（高等学校教員、大学教職員、大学生・大学院生等）
- ・ 内容：

I. 基調講演

『大学入試改革の方向性とその評価～「主体性等」の多面的・総合的な評価について～』

（講師：尾木義久 関西学院大学 アドミッション・オフィサー・学長特命）

II. パネルディスカッション

『大学入試改革でどのように高校での学びを評価するようになるか』

～「客観性・公平性」の入試から、「妥当性・信頼性」の入試への変革～』

<第2回>

- ・ 開催月日：令和2年2月14日（金）
- ・ 会場：岐阜女子大学
- ・ 当日参加者：69名（高等学校教員、大学教職員、大学生・大学院生）

・内容：

I. 基調講演

『大学入学者選抜の改革 ～知識重視から、学力3要素が求められる入試へ～』

(講師：新井健一 CRET 教育テスト研究センター理事長

ベネッセ教育総合研究所理事長

II. 意見交換会

c) 地域連携・産学連携事業

①目的

- ・ 地域貢献
- ・ 教育・研究の充実

②実績

学生による地域課題解決提案事業

- ・ 12 機関から 26 件の応募があり 22 件を採択
- ・ 成果報告会の開催

開催月日：令和元年 12 月 21 日 (土)

会場：岐阜大学サテライトキャンパス

当日参加者：163 名

内容：1. 成果発表プレゼンテーション

2. グループ懇談会

表彰：第一会場 第1位 中日本自動車短期大学 工学教育研究室

第2位 中京学院大学短期大学部 健康栄養学科 チームグルテン

第二会場 第1位 岐阜大学工学部 都市・景観研究室

第2位 東海学院大学 健康福祉学部管理栄養学科

d) 教員免許状更新講習事業

①目的

- ・ 小・中・高等学校等教育免許状更新講習の調整・実施

②実施期間

夏季：令和元年 6 月 15 日から 8 月 25 日

秋季：令和元年 11 月 9 日から 11 月 24 日

③講習開催実績

1. 必修領域 (1 講習 6 時間)

講習開設数：19 講習

講習実施機関：岐阜大学

受講者数：1,705 名

2. 選択必修講習（1講習6時間）

講習開設数：34講習

講習実施機関：岐阜大学、岐阜聖徳学園大学、中部学院大学、岐阜聖徳学園大学短期大学部

受講者数：1,921名

3. 選択領域（一部を除き1講習6時間）

講習開設数：367講習

講習実施機関：朝日大学、岐阜大学、岐阜協立大学、岐阜県立看護大学、岐阜聖徳学園大学、岐阜女子大学、東海学院大学、中部学院大学、大垣女子短期大学、岐阜聖徳学園大学短期大学部、東海学院大学短期大学部、中部学院大学短期大学部、中京学院大学短期大学部、高山自動車短期大学、岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会

（以上8大学、6短期大学（部）、2教育委員会）

受講者数：5,076名

3. 課題及び次年度の取組方針

（1）サテライトキャンパスについて

サテライトキャンパスでは、自己収入の増加を目指し、平成30年度よりサテライトキャンパスの使用料金単価を改定したが、結果として平成30年度及び令和元年度の使用料収入は減少傾向となった。また、本学の教育活動における利用においては、サテライトキャンパスの設置目的である「本学の教育研究、社会貢献を推進するための新たな活動拠点」であることが達成されているとは言いがたい状況であったが、令和元年度の後学期は、授業での利用が増加している。次年度においては、サテライトキャンパスの設置目的を踏まえた、さらなる活性化方策を検討していきたい。

（2）ネットワーク大学コンソーシアム岐阜について

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜では、新たな将来ビジョン2019を策定するとともに、各部会において着実な事業実施に取り組んできた。一方、近年の大学を取り巻く環境の厳しさもあり、国公私立の枠組みを超えた連携の在り方が国策レベルでも検討されているところ、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜においても、平成30年度私立大学等総合改革支援事業（タイプ5）に採択され、地域の高等教育の振興に関するプラットフォーム形成や中長期計画の策定に取り組んできた。今年度においても、令和元年度私立大学等総合改革支援事業タイプ3に申請したところだが、結果は残念ながら不採択となった。次年度においては、中長期計画の運用や検証について各部会等と調整を進め、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜や加盟機関を取り巻く新たな課題の解決に取り組んでいきたい。

令和元年度教職課程支援部門活動報告

部門長 石川 英志

1. 会議等の記録

会議の実施日と主な審議議題は以下の表1のとおりである。

表1 教職課程支援部門会議

開催日	主な審議議題
5月21日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2019年度前学期の履修登録取消願の受理判定審査について 2. 2019年度前学期非常勤講師の採用について 3. 2019年度教育実習・養護実習について 4. 2019年度教育実習・養護実習事後指導について 5. 2019年度教職実践演習について 6. 2019年度「教職科目全体を俯瞰した指導の在り方に係る協議会」の委員委嘱について 7. 2019年度全学共通教職科目開講授業について
8月7日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2019年度後学期全学共通教職科目の開講について 2. 2019年度教職実践演習について 3. 2020年度教育実習・養護実習の実習予定校について 4. 教育実習・養護実習に係る感染症抗体検査結果の確認と対応について 5. 教職科目と他の科目の開講時間が重なった際の対応について
10月25日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度後学期非常勤講師の採用について 2. 令和2年度全学共通「教職課程」の授業予定について 3. 令和2年度教育実習・養護実習事前指導について 4. 教育実習・養護実習に向けての麻疹等抗体非保有者の指導について 5. 教職科目と他の科目の開講時間が重なった際の対応について 6. 中途からの教職課程とガイダンスによる積極的推進について 7. 来年度以降の教職実践演習について 8. 2019年度岐阜県教員免許状更新講習に係る学内分担金について
1月31日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2020年度教職課程要覧について 2. 教職科目と他の科目の開講時間が重なった際の対応について 3. 2020年度岐阜県教員免許更新講習の開催について
3月31日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度後学期の受講及び成績評定の状況について

2. 活動内容及び成果

(1) 「教職課程」受講者数と教員採用試験結果

表2, 表3に示すように, 1年次生から4年次生まであわせて, 前学期129名, 後学期125名が, 「教職課程」を受講した。

次に, 教員採用試験結果について表4に示す。現役4年次生および大学院生のうち14名が教員採用試験を受け, 一次試験合格者は9名, 二次試験合格者(正規教員)は8名であった。なお, 教職課程を受講した既卒者の受験や合格に関するデータは反映されていない。また, 講師に関しても表中に示していないが, 常勤講師2名が確定している(2020年3月末現在)。

表2 2019年度前学期 全学共通「教職課程」受講者数

年次	合計	内 訳			
		工学部	応用生物科学部		医学部
		応物コース	生産環境	応用生命	看護学科
1年次	30	3	14	13	
2年次	39	4	15	12	8
3年次	27	2	3	11	11
4年次	30	7	11	7	5
院 生	3		2	1	
合 計	129	16	45	44	24

表3 2019年度後学期 全学共通「教職課程」受講者数

年次	合計	内 訳			
		工学部	応用生物科学部		医学部
		応物コース	生産環境	応用生命	看護学科
1年次	28	3	14	11	
2年次	36	4	14	10	8
3年次	27	2	3	11	11
4年次	31	8	11	7	5
院 生	3		2	1	
合 計	125	17	44	40	24

表4 2019年度・教員採用試験結果

学部	区分(教科)	一次選考試験		二次選考試験	
		受験者	合格者	受験者	合格者
工学部	高等学校教諭(数学)	4	3	3	3
応用生物科学部 自然科学技術研究科	高等学校教諭(理科)	5	3	2	2
	高等学校教諭(農業)	1	1	1	1
医学部看護学科	養護教諭	4	2	2	2

(2) 教職課程の充実について

教職課程の充実を直接的、間接的に図る方策として2019年度に実施した項目は次のとおりである。

① 部門スタッフと各学部授業担当者との連携

教職課程支援部門と各学部の授業の連携をより充実させ、協働的な取り組みを推進するために、教職課程支援部門特任教授と各学部の授業担当者の対面会議（「教職科目全体を俯瞰した指導の在り方に係る協議会」）を今年度も開催した。学生に関する情報交換や指導の現状と課題等についての交流を図り、一貫性をもった教職課程の構築と指導の充実を図るための協議を展開することができた。

② 教職課程支援部門室紀要第3号発刊とその成果

29年度に本部門紀要の創刊号を出したが、本年度、第3号を継続発刊することができた。発刊の背景には、紀要という仕掛けを通して、部門スタッフが自らの大学教育実践を分析・省察し、その基盤となる理論知の形成と充実を図り、さらに、そうした一連の取組を公開して第三者の立場からの批正を求め、受け入れ、実践の向上を図ろうとする意図がある。

今回の発刊の成果の一つとして、一般学部学生のキャリア・ビジョンを想定した複数の教職科目履修モデルの構想・検討を行ったことを挙げておきたい。これまで基本的に入学段階からの教職科目履修を想定した履修プロセスモデルを前提としていたとあってよいだろう。しかし現状として、一般学部学生にとって、キャリア・ビジョンの選択肢の一つに教職があるに過ぎない。さらに、教職への関心や志向を入学スタート時点から持っている学生はマイノリティだといってよいだろう。それだけに、学部から大学院への学修途上プロセスのなかで、教職への関心や志向が生成した学生にも対応できる履修プロセスモデルを提示することは本部門の責務だと考え、そうした学生のニーズに対応できる履修プロセスモデルを部門として検討、提案することにした。今後も引き続いて検討していく予定である。

③ FDの開催

部門として開講している授業科目に関して、今年度、学生による評価を実施し、その分析

をもとに、部門内でFDを実施することができた。

3. 課題及び次年度の取組方針

次年度も、工学部・応用生物科学部・医学部看護学科の教員免許取得希望者に対し、本部門で開講する授業が高校教員や養護教諭の養成に資する教育内容を提供しているかどうかを十分吟味し、個々の状況に応じた丁寧な指導に努めていきたい。その際に、上述したように、教職課程支援部門と各学部との一層の連携を図るとともに、岐阜県や近隣の高校に対して、岐阜大学では教育学部以外に教員免許状取得が可能な仕組み（組織体制）が用意され機能していることを広報することが今後の中心的な課題となる。

令和元年度キャリア支援部門活動報告

部 門 長 横田 康成
副部門長 吉田 敏

1. 会議等の記録

表1 キャリア支援部門会議

開催月日	主な審議議題
4月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県学生就職連絡協議会の平成31年度通常総会並びに中部学生就職連絡協議会連合会の平成31年度総会及び講演会について ・平成30年度卒業・修了予定者(3月)の求人・求職・就職内定状況について ・2019年度事業計画について ・2019年度基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業について
5月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部就職担当教職員とキャリア支援部門との情報交換会の開催について ・学生のボランティア活動報告(4月)について ・基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業の募集について
6月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部就職担当教職員とキャリア支援部門との情報交換会(5/22)について ・学生のボランティア活動報告(5月)について ・中部経済連合会「企業・人材プール」の出前授業について ・2019年度基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業の申請について
7月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・グローアップセミナー(6/8合同主催岐阜県学生就職連絡協議会)について ・「第1回輝け! キャリコン2019☆岐大」(9/8)の応募状況等について ・令和元年度基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業の採択通知書交付式(6/19)について
9月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・後学期の就職活動支援ガイダンス等について ・岐阜県学生就職連絡協議会の夏季研修会及び情報交換会(8/26)並びに中部学生就職連絡協議会連合会の大学と企業との就職研究会(9/12)について ・「第1回輝け! キャリコン2019☆岐大」(9/8 岐阜大学サテライトキャンパス)実施結果について ・大学ボランティアセンター全国フォーラム2019(9/11・12 首都大学東京)及び社会人基礎力協議会「2019フォーラム.Sep」(9/18 専修大学)について ・キャリア支援部門ニュース(2019.10月号 No.17)の発行について ・日経ウーマノミクス・プロジェクト「女子学生のためのキャリアセミナー in 岐阜大学」の開催(10月～翌年1月)時期及び内容等の提案について

10月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜大学OB・OGによる仕事研究セミナー（12/11）の開催について ・日経ウーマノミクス・プロジェクト「学生のためのキャリアセミナーin 岐阜大学」（仮題）の開催（12/18）について
11月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜大学OB・OGによる仕事研究セミナー（12/11）の開催内容等について ・キャリア支援部門主催の日経ウーマノミクス・プロジェクト「学生のためのキャリアセミナーin 岐阜大学」開催（12/18）の内容等及び協力について ・学生のボランティア活動報告（10月）について ・中部経済連合会からの「企業・人材プール」リストの提供活用について
12月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力協議会「2019 フォーラム Nov.」大学・企業における「リカレント教育」の取り組み方と実態（11/15）について ・令和元年度「キャリア教育・就職支援ワークショップ」（11/29）について
1月14日	<p>[メール開催]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生のボランティア活動報告（12月）について ・岐阜大学OB・OGによる仕事セミナーの開催報告（12/11）について ・日経ウーマノミクス・プロジェクト「学生のためのキャリアセミナーin 岐阜大学」の開催報告（12/18）について
2月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・第18回 2020年岐阜大学学生企業展（3/5・6）及び学生企業展オリジナルセミナー（2/19・26）について ・キャリア支援部門ニュース（2020.3月号 No.18）の発行について
3月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度「学生ボラネット ボランティア活動報告書」及び「輝け！キャリアコン2019☆岐大 報告書」について ・第18回 2020年岐阜大学学生企業展（3/5・6）の中止について ・次年度の就職活動支援ガイダンス（予定）等について ・次年度の改組によるキャリア支援部門の各事業等について

表2 イノベーション創出若手人材養成部会会議

開催月日	主な審議議題
4月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの登録者について ・インターンシップ研修生への宿泊費補助事業について ・第9回成果報告会について、・名大との今後の協力関係について
5月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・イノベーション創出若手人材養成プログラム聴講生について
6月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・学外研修参加者について ・「未来博士3分間コンペティション2019」の発表者募集について ・「未来博士と企業との交流会」開催について
7月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・「未来博士3分間コンペティション2019」の発表者について ・「企業と博士人材の交流会」(8/31名大)について ・長期インターンシップ研修生支援事業の申請について
9月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・「企業と博士人材の交流会」(8/31名大)について ・未来博士3分間コンペティション2019(9/14東広島市)の結果について ・未来博士と企業との交流会(11/27柳戸会館)の開催について ・FDの開催(12/6)について ・イノベーションスキル・プログラムの成績について
10月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の学外研修の修了について(林兼輔・工学研究科) ・「未来博士と企業との交流会」について ・募集要項について
11月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・「未来博士と企業との交流会」(11月27日)開催について ・イノベFDの開催(12月6日)について
12月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・「未来博士と企業との交流会」の実施結果について ・FDの実施結果について ・募集要項及びプログラム概要の発行、募集説明会の開催について
1月14日	<p>[メール開催]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム研修生・聴講生の募集説明会及び研修生の面接日時について
2月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム2020年度募集について ・第10回成果報告会の開催について(2月下旬中止を通知) ・プログラム修了証、修了証(講義)の授与について(中止、ただし郵送に切り替え)
3月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・第10回成果報告会及び育成会について(中止) ・2020年度11期プログラム研修生及び聴講生の応募者数について ・ジョブ型研究インターンシップについて

2. 活動内容及び成果

<キャリア支援>

- ・学生の基盤的能力向上を図るための自主的活動支援

基盤的能力の育成を目的とする課題を募集し、5つの団体（学生ボラネット、楽 tan θ Web で岐大を盛り上げる、のむゼミ 看護師のたまごのための「見たまノート」、応用生物科学部 日本酒の味を一目で判定する新規マーケット戦略の構築、のらぎーく 身近な生き物についての情報発信）に各 10 万円を上限とする申請に応じた活動支援を行った。

- ・学生のボランティア活動支援

白村直也特任助教を中心として、毎週水曜日の午後図書館アカデミックコア又は大学会館サポーターズルームで、金曜日の午後キャリアセンター内で、それぞれ学生からのボランティアの相談窓口を開いた。



- ・講演会、セミナー等の開催

キャリア支援部門主催の日経ウーマノミクス・プロジェクト「学生のためのキャリアセミナー in 岐阜大学」を 12 月に開催した。

また、12 月開催の就職支援室主催岐阜大学 OB・OG による仕事セミナーに協力した。

- ・フォーラム等への参加

白村直也特任助教が 9 月開催の大学ボランティアセンター全国フォーラム 2019 及び社会人基礎力協議会「2019 フォーラム.Sep」へ参加した。

- ・キャリア支援部門ニュースの発行

部門の活動紹介、卒業生からの寄稿、プロジェクト型インターンシップ等を掲載した部門ニュースを 2019 年 10 月と 2020 年 3 月の 2 回発行し、学生等に配付した。

- ・キャリア支援部門会議とイノベーション創出若手人材養成部会会議を合同で毎月 1 回開催した。

- ・授業改善のためのアンケート公開・改善の実行

平成 30 年 3 月のアンケート結果に基づき、シラバス及び授業の改善を試みた。

<イノベーション創出若手人材養成>

・スキルプログラムとして、前学期にエンライトメント・レクチャー（8 回）、ビジネス英語（15 回）、アイデア・トレーニング・キャンプ（3 日間）の 3 つを実施した。「プログラム研修生」としての今年度参加者はいなかった。「聴講生」は、これらプログラムをどれでも 1 つから自由に受講できるが、これらのプログラムにはのべ 29 名の聴講

生が参加した。エンライトメント・レクチャーでは担当講師には主として英語での講義をやって頂いたが、2名の留学生を含む3名の登録参加者だけであった。昨年度のエンライトメント・レクチャーのビデオ（字幕付き）ファイルは保存して貸出し可能な状態である。また、一部のレクチャーには15名の修士の学生を含む参加者があった。

また、アイデア・トレーニング・キャンプには、15名の参加者があったが全員留学生であった。

・学外研修（インターンシップ）として、H30年度研修生2名の内の1名（工学研究科2年）が、R1.6～8月の2か月間のインターンシップ（物質・材料研究機構、つくば市）を、広島大学HIRAKUプロジェクトからの支援の下、実施した。2018年度後期以降、長期インターンシップに参加する研修生のために、宿泊費の一部を支援するための仕組み（研修生支援事業実施要項）を整備してあったので、今回の長期インターンシップにおいて初めて利用してもらった（5万円）。

・令和元年9月14日に東広島芸術文化ホールで開催された「未来博士3分間コンペティション2019」（3MT; 6大学から25名発表参加、約270名の一般オーディエンス）に本学より工学研究科博士後期課程学生1名（留学生）が英語部門に参加した。昨年度そこでグローバルチャレンジ賞を受賞した1名（H30年度研修生、連合農学研究科）は、2019年10月4日の国際大会（オーストラリア、クイーンズランド大学）に派遣され参加発表して交流することができた。

・令和元年11月27日に、昨年度に引き続き、2回目の「未来博士と企業との交流会」を柳戸会館で開催し、D1～D4、PDから4名参加、2名の発表（日本語あるいは英語で口演/ポスター発表）があり、企業から6社12名の参加、6社から口演発表があり、質疑応答を含め2時間近くポスター発表を中心に大学院生と企業担当者との間で熱心に懇親交流が行われた。

また、8月下旬にあった名古屋大学の「企業と博士人材の交流会」に連合農学研究科のD2の1名が参加を許され、80名ぐらいの全国のDC院生、60社程度の企業と交流することができた。

・令和2年1月にニュースレター第5号を発行した。

・令和2年1月に岐阜大学イノベーション創出若手人材養成プログラム概要(改訂版)を発行した。

・令和2年1月15日より2020年度第11期プログラム研修生及び聴講生の募集を開始した。募集要項とニュースレターを全研究科の博士後期課程1・2年及び進学予定の博士前期課程2年の学生に配布した。また、日本語と英語による説明会を応用生物科学部の講義室で各1回、計2回開催した。

・2020年度には、プログラム研修生は0名であるが、聴講生は昨年度と同等程度の参加者が見込まれる（3月10日現在8名が申請済み）。ただ、感染症拡大のため留学生の

一部は参加が遅れることが危惧される。

・令和2年3月16日にイノベーション創出若手人材養成プログラム第10回成果報告会（授与式含む）と育成会の総会の開催を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大の恐れがあり中止せざるを得なかった。報告会で授与する予定であった修了証は、個別に修了者所属の研究室に郵送した。

また、報告内容はPDF化した資料を部門のホームページに載せた。

<就職支援>

・求人情報の提供

学生に公開している本学への求人件数（学部受付分を除く）は2020年3月末現在1,029件であった。（就職支援室受付分求人件数）

・就職活動に関する学生相談

就職活動に関する疑問や悩みの相談から、エントリーシート・履歴書の添削、面接指導など就職活動全般にわたるアドバイスを行っているため、各学部就職担当教職員とキャリア支援部門との情報交換会で就職支援室利用者数及び利用方法等を共有した。

・各種事業の実施及び学生の参加状況

①就職（活動支援）ガイダンス

講師による講義や実習、OBや内定者からの体験報告等を就職活動の流れに沿ったテーマ構成で実施し、積極的に取り組む気構えを植えつけることを目的とするもので、5月から1月までの間に計20回開催し、のべ2,000名程の参加があった。

②公務員業務説明会

就職ガイダンスの一環として、1月15日・22日の2週にわたり15機関を招いて実施しており、合計で149名の参加があった。

③グループ面接体験講座（模擬面接）

採用試験で重視される面接について、実践を通して自信を持った受け答えができるよう、緊張感の中での面接力の向上を図ることを目的として、外注により3月～5月に実施するもので、主な対象である2020年3月卒業・修了予定者から、のべ165名の参加があった。

④グループディスカッション練習・エントリーシート対策講座ほか

最近、採用試験に取り入れる企業・自治体が増えているグループディスカッションやエントリーシートの書き方について、相談員2名が「就活セミナー」として講座を実施するもので、主な対象である2020年3月卒業・修了予定者から、のべ277名の参加があった。

⑤「岐阜大学学生企業展」への支援

本学の学内合同企業説明会は10数年の歴史を持つ学生有志による「岐阜大学学生

企業展」がその役目を担っており、これを唯一の全学合同企業説明会としており、更に学生のキャリア形成支援（自主活動）を就職支援室としても側面から支援している。

2020年3月は新型コロナウイルスの感染防止のため、中止になった。

3. 課題及び次年度の取組方針

課題：

- ・ キャリア支援部門主催 FD、交流会の学生への周知・参加者の確保
- ・ イノベーション創出若手人材養成プログラムへの参加学生の確保と定着化、学生・教職員への取り組みの周知

次年度取り組み方針

1. キャリア形成支援事業
2. キャリア形成教育に関する研究・広報活動（センター体制が改組により変更されるため4月以降に確定）
 - (1) FDの開催
 - (2) 各学部就職担当教職員とキャリア教育部会委員との情報交換
 - (3) 研修会への参加
 - (4) ニュースの発行（年2回；10、3月）就職支援中心で；
部門の活動紹介、先輩社会人からの寄稿等を掲載したニュースを年2回発行し、学生に配付していた。
3. イノベーション創出若手人材養成プログラムの実施（4月に運用体制が変更されるため、4月以降に確定）
 - (1) スキルプログラム（プログラム研修生・聴講生の募集及び説明会開催、高度人材育成セミナー、ビジネス英語、アイデア・トレーニング・キャンプ）の実施、企業との交流会の実施、インターンシップ受入企業交渉、成果報告会、修了証授与式
 - (2) インターンシップ研修生への宿泊費補助事業
1人当たり最高5万円 ×2名程度
4. イノベーション創出若手人材養成プログラムに関する研究・広報活動
 - (1) FDの開催；体制変更のため不明
 - (2) プログラム概要の改訂・発行（年1回）
 - (3) コンソーシアム事業への参加（広島大学「未来を拓く地方協奏プラットホーム」）
 - (4) 名古屋大学との連携（大学院向けのキャリア教育関連）

- (5) 高度人材育成セミナーの開催と講師依頼（修士及び博士課程向け）
- (6) イノベ・プログラム及びキャリア教育に関する情報交換・記録サイト（Web ページ、AIMS-Gifu career コミュニティ、等）の充実